

南稜高校生がビオトープ見学

去る平成17年11月21日(月)に熊本県立南稜高等学校の1年生40名が林業ガイダンスの一環として、川辺川ダム事業や「鳥と昆虫の広場公園」で生態系について学びました。

ダムサイト付近は日陰で寒かったものの、川辺川ダム事業の説明に耳をかたむけ、真剣に要点のメモを取っていました。また、「鳥と昆虫の広場公園」では乙益環境巡視員より、その場を利用する生物を食物連鎖の観点から紹介するとともに、シカによる食害や角研ぎによる木々の立ち枯れ、ニホンザルによる枝折りなど、現状とその対策等について説明されました。

説明の最後、カブトムシなどの産卵場にて幼虫を探す際には、参加した生徒全員が目を光らせ観察していました。見付かった幼虫は全長約8cm、直径φ約2.5cmと普段目にするものより一回り大きかったこともあり、驚きもさめないうちに今回の学習を終了しました。



←ビオトープを用いて食物連鎖を説明



←↑カブトムシなどの産卵場での幼虫探し

